



つながる ローカルSDGsの実践



2つ並んだ青い発酵槽



約 800 頭分の糞尿を 40℃に加熱し、40～50 日かけて
ゆっくり攪拌し発酵を促進させます。発酵槽上部にガス
が溜まり、発生するガスの燃焼により発電するしくみ



5月から、生活クラブでんきとして北海道の組合員に
供給されています！

5月12日、澄み渡る青空の下、株式会社 阿寒マイクログリッド(釧路市阿寒町)の設備竣工式が行われました。生活クラブグループの自主電源として初のバイオガス発電には、生活クラブ北海道を含め7つの単協が出資しています。乳牛の排泄物を活用して発電するしくみで、エネルギー自給の取り組みを一步すすめました。もうひとつの特徴は、「マイクログリッド」。地域コミュニティの中でエネルギー供給源と消費施設を持ち地産地消をめざす、小規模なエネルギーネットワークのことです。災害時にはバックアップ電源として電力供給できます。地域の資源を最大限に活かし、地場で利用するこの取り組みに期待が集まっています。

〈サステナブル委員会 担当理事 伊藤 弘子〉



竣工式は牛乳で「乾杯!」。約50人の関係者が道内外から出席しました

INDEX

生活クラブの支部活動を紹介します 3
手稲支部・小樽支部

2023年度 春の委員研修 4～5
生活クラブは組合員一人ひとりがつくっている自分たちの生協です

北海道マウコピリカ宣言 ～この自然があって幸せ～ 6
北海道に核のゴミはいらないという想いを掲げましょう

温湯消毒から始まる米づくり 7

生活クラブ Wind

組織 (5月度)	
組合員数	12,473 名
加入	77 名
脱退	47 名
共同購入 (4月度)	
利用高	2億4,878万2,447円
1世帯当たり	19,946円
グリーンシステム (5月度)	
Rびん	回収 19,925本 回収率 89.0%
紙パック	売却金 7,110円 回収率 59.5%
ビッキング袋	回収率 25.8%
福祉基金 (5月度)	
賛同者数	3,027 名
賛同率	23.0%
エコロ (5月度)	
加入者数	4,063 名
加入	5 名
脱退	14 名
生活クラブ共済 ハグくみ (4月度)	
加入件数	1,534 件
CO・OP 共済 (4月度)	
保有件数	たすけあい 4,070 件
	あいぶらす 1,890 件
電気の共同購入 (3月)	
〈供給契約者数〉	756 名
〈電源構成比 速報値〉	
3月は、約9割の電力を再生可能エネルギー発電所からお届けしています。	

組織委員会

各支部では拡大の重点エリアを設定し、仲間を増やすことをめざして展示説明車あみーかの運行やイベントを開催しています。このエリアに住む組合員は「近所に仲間をー」の気持ちでチラシマキに参加したり、あみーかやイベントに友達を連れて、または一人でも気軽に足を運んでください。組合員同士ならでは消費材トークも楽しく、近所だからわかり合える住みよい街づくりについても語る機会になります。エリア外の組合員も、もちろん大歓迎です。

人のつながりから生まれる可能性は無量大。支部も地域もみんなと一緒に盛り上げましょうー！

消費委員会

6・7月は「牛乳強化月間」。5月の委員会内でサツラク農協の担当者と交流し、情報を共有しました。飼料や資材価格の高騰により、酪農が厳しい状況にあることはご存じかと思えます。生活クラブ牛乳の利用本数も年々減少し、今後持続可能な生産が困難にならないとは限りません。現在、月2万7千本の利用本数を、3万本にすることを目標とします。

タオル一本運動に代わる「つながるミルクメッセーシアクシオン」で、生産者に思いを伝え、支部が企画する料理講習会などに参加し、生活クラブ牛乳への想いと理解を深めましょう。



原発ゼロ・市民エネルギー委員会

37回目の4・26チエルノブイリデー市民集会は、残念ながら天候不良のため中止となりましたが、脱原発に対する意思は変わりません。チエルノブイリ、福島島の教訓を生かし、「原発はいらない」の声を力強くあげていきます。5月5日の大通公園でのパレードには200人の参加があり、泊原発電炉を市民に訴えました。

北海道に核のゴミはいらないという想いをこめて『北海道マウ「ポリカ宣言」』を、5月17日の宣言スタートパーティーから始めました。生活クラブ北海道のホームページのお知らせ、インスタグラムをご覧ください。「核のゴミはいらない」と、一人ひとりが声をあげましょうー！

文化委員会

5月のG7サミットでは各国首脳が被爆地・広島に集い、初めて広島平和記念資料館を訪れ、それぞれに平和の大切さを表明しました。しかし、全世界が取り組むべき核兵器禁止条約に全く触れない共同声明に、がっかりした方が多いのではないかと思います。私たちは平和について確かな意思を持ち、小さな声を集め、生活クラブだからこそできる活動が続けていきます。

8月2日、9日に若い世代とともに平和を考える集会を2つ持ちます。ぜひ参加してください。来年8月には、「ロシマ・ナガサキ平和行動を再開予定です。組合員、そして中高生のみならず、参加お待ちしております。

5月の理事会から

- 2023年度総代会の議事進行を決定し、来賓および参加者等の確認を行いました。
- 2023年度監査方針・監査計画について承認しました。
- 第十三次中期計画（2024年～2028年）の審議の進め方について承認しました。
- エッコロ申請用紙の改定と、新申請用紙のホームページからのダウンロード開始についてのスケジュールを承認しました。
- 運営委員長研修を7月に実施するとの報告がありました。
- 生活クラブ北海道40周年記念誌の、図書館等への寄贈について承認しました。
- 生活クラブでんき契約者に対する2022年度の利用還元割戻について、還元率1%を実施するとの報告がありました。

手稲

まるごと生活クラブ in まるしょう

お友達を誘って
ぜひどうぞよ

運営委員 佐々木 佳永^{かえ}

4月14～15日、「スペースまるしょう」のオープニングイベントに、ミニ展示説明会で参加しました。手稲支部組合員がご実家のお店跡地を改装し、手稲駅南口前に誕生したコミュニティスペースです。駅のすぐ側という最高の立地と、地域の居



「ミニ展示説明会」として26品目の計画品を用意

場所を作りたいという熱い想いに感動した運営委員。事前に地域へのお知らせチラシを、くらコミやお助け隊メンバーの協力で1000枚まきました。

14日は開店と同時に続々と消費材を求めて人が訪れました。2日間で34人の方と会うことができ、早速1人の加入が決まりました。

今後月に一度を目安に、ここへ来ると生活クラブがよくわかる場所として「まるごと生活クラブ in まるしょう」を行い、地域の方とつながり、仲間を増やしていきたいと思えます。



生活クラブの 支部活動を紹介します

各支部では1年間の組合員拡大の計画数を決めて、その目標数達成に向けた活動を展開しています。拡大活動にかかせない消費材のお試し買いができる機会として、「ミニ展示説明会」や「展示説明車あみーか」を使った2支部から活動報告をしてもらいます。

小樽

👑 おすすめ消費材は すぐに食べてもらえる冷蔵品！

運営委員 三ツ江 真理子

春のチラシまきに合わせて、今年をはじめのあみーかを5月13日に開催しました。場所は拡大重点地区でもある小樽市役所前の空き地。全組合員がチラシをまいたので、遠くから来てくれた人もいました。また、以前からの加入情報者にも電話をかけてお知らせし、17人もの来場につながりました。

おすすめの消費材は、すぐに食べてもらえる冷蔵品。数日後には食べた感想が聞けるためアピールしやすい



です。今年は支部で冷蔵品を選べたので、人気のチョコスプレッドや昆布巻、粒マスタードなども用意しました。「もっと食べてみたいから加入した

い」と思ってもらえるように、消費材のことをちゃんと知って選ぶことが重要です。添加物の入らない粒マスタードについて

は、「賞味期限が短く市場には出せない」と本部主催の生産者交流会で学習したばかりなので、自信をもって語れます。

開店前から人が押し寄せてしまい語るができなかったのが、後日、電話がけのときに伝えます。そして、次につながられるような活動を用意し、加入へ導いていきたいと思えます。



生活クラブは

組合員一人ひとりがつくっている 自分たちの生協です

生活クラブへの理解が深まる機会として、委員を対象とした研修を年2回おこなっています。今年度は第一部で「生活クラブって何?」を対談形式で、第二部では利用結集活動について各々学びました。チュプでは第一部の高階専務理事と竹森理事の対談の様子を紹介します。〈4/20 札幌エルプラザ〉

生協ってなに?

高階 生協は「消費生活協同組合」の略称です。協同組合には他に、農業協同組合・漁業協同組合・森林組合・労働金庫などがあります。

1844年にイギリスのロッチデールで、初めて協同組合が成功しました。産業革命によって生産性が飛躍的に上がり富裕層が生まれる一方で、労働者は義務教育も受けられず低賃金で苦しい生活をおくっていました。そこで、何とかこの生活を良いものにしよう、勉強して教養を高めていこうと自分たちでお金を出し合い作ったのが始まりです。

教養を得ないと、どうしても権力者や富裕層の言いなりになってしまいま



竹森 明子 理事
2022年 理事に就任。
組織・石けん運動委員会
会担当。恵庭支部組合員



高階 洋介 専務理事
1988年 入協。2020年
専務理事に就任。消費
委員会担当

す。ロッチデールの協同組合では剰余の2.5%を教育にまわし、店舗横に併設した図書館に新聞を置いて学べるようにしていました。それが今に続いているものが生活クラブにもあって、組合員に毎月届いている『生活と自治』。表紙をめくると「生活者の新聞です」と書いてあります。協同組合ができた意味、私たちが続けていかなければいけないのは学ぶことです。自分たちで世の中を良くするために教養を得る。それが協同組合において大切なことです。

竹森 生協という名のスーパーだと思っていました。ちよつといいものが買えるお店。組合員になってから、私たちがお客さんではないと気づいたんです。「生協は安全なものを買うだけの団体ではない」というところを教えてください。

高階 協同組合の目的は、生き生きとした生活を営むために、みんなで力を合わせて問題を解決していくことです。生協では食べ物を買っています。人間が生まれてから死ぬまで必要なものだから、ここを改善しないといひ暮らしには向かっていきません。まず、安心できるものを自分たちで作って購入していこう、それを食べる仲間を増やしていこうというのが原点にあります。

安心・安全なものは何かと考えたときに、生活クラブの場合は添加物を抜くのではなくて、まずは情報開示。生産者と

の信頼関係を強くし、添加物があつたとしても中身がわかるものを食べて利用を広めていくことで、問題を少しずつ解決していく。自分たちで考えて行動するという「自主運営・自主管理」が、すべての消費材の中身にまで浸透しています。

竹森 食を通して気づいた社会の矛盾や問題を解決するために行動する、生活者の協同組合なんですね。

自主運営・自主管理って?

「自分で考え、自分で行動する」という生活クラブの基本理念

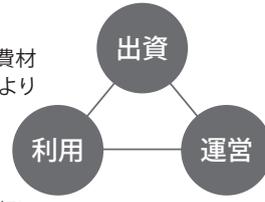
竹森 委員になったばかりのころ、なぜ自分が運営に関わらなければいけないのか疑問でした。自分の食卓さえ守れたらいいと思つているのに、何でだろうと。

高階 そもそも生協は、自分たちで運営していくことに意味があります。安心できる食べ物を得るためには、他人任せにしないで素性を知った方が納得できます。自分が中に入って運営に関わると、より生活クラブへの理解も深まります。

自分の家族のことだけを考えるなら自然食品店へ買いに行けばいい。でも家族や親戚、友達にも食べさせたいのなら、買う力を高めて大きな生産者や産地単位で私たちが納得できるものを作つて

もらう方が、持続しやすいと思います。一人ひとりの力は弱いけれど結集することによって企業が動き、私たちがやっていることを真似した商品がスーパーに並ぶ。それが、私たちのめざしているところでもあります。

生活クラブのしくみとは？



出資

組合員みんなで生活クラブの活動と共同購入の事業を支えるために出資。加入時に千円、その後は毎月千円ずつ積み立て増資します。

利用

生産者と提携して生まれた私たちの消費材は、組合員みんなで利用しあうことで、より良いものをより安く利用できます。

運営

組合員が生活クラブを運営します。各支部にある運営委員会で、しくみや取り扱う品目などに意見を出し合い、問題解決していきます。

竹森 加入当初は、主要品目である肉・牛乳・米などを買っていませんでした。米は、近所のファームレストランで売っている無農薬米の方がいいと思っていたからです。

昨年、生活クラブ米の産地であり加工用トマトの生産もしている滝川市江部乙町に行った時、「産地形成」という言葉を聞きました。そして、一軒の農家が生産する無農薬のものよりも、課題解決に向けて少しでもいいものを作っていこうという生産者を増やし、大勢で利用して産地を広げていくのが重要だと知りました。今では、ほとんどの食材を生活クラブで、というくらい虜とらになっていきます。消費材の背景を知り、少し高くても納得して利用するようになりました。

竹森 毎月千円の出資金も、はじめは高いと思っていました。何に使っているのかを教えてください。

高階 出資金は、生協事業運営のために必要なトラックの購入や本部・第2センターの建設など、我々の財産に使われています。農協や漁業協同組合などには〇〇バンクといった信用事業があります。我々のような消費生活協同組合には認められていません。活動・運営・事業をすすめるために出資金は非常に大切で、この千円は夢を叶えるための千円なのです。

竹森 拡大は、消費材を食べ続けるために仲間を増やすというだけではなく、社会の問題を解決するために声を集めるという意味もあると捉えています。

高階 自分たちの目的、生活クラブの存在意義や価値を考えると、共感者が多い方がよい。組合員はセールスマンではないから、買ってもらうお客さんを増やす営業を拡大と言うのではありません。「ケチャップおいしいよ」だけではなく、国産トマトを使ったケチャップを食べる人を増やしている。生産者と自分たちが作ったケチャップです。「農業を守って子ども世代につなげるために一緒にやりませんか」と仲間を増やすため、自分たちの生協をつくっています。

竹森 セールスマンではないことを胸に留めて、私はこれからも拡大をがんばっていききたいです。各支部でも組合員とつながり、委員だけではなく、みんなで輪をつくって拡大していきたいです。

予約共同購入って？

消費材はオーダーメイド。1カ月分をまとめて注文し、翌月に受け取ります

竹森 拡大をすすめる一方で脱退する人もいます。1カ月に1回の注文が合わないのが理由だと聞くと、予約共同購入の良さを伝えられなかったと残念な気持ちになります。このしくみは社会を変える力ギだと思っていますので、

多くの人に知ってもらいたいです。

高階 予約すると何がいいのかというところ、生産者は作る量が1カ月前にわかるため、計画的に原材料を確保することができます。工場の人員や、どの時間にどう作るかの計画も立てられます。効率的に生産できて無駄を減らせるので、価格を抑えられます。

また、消費材は日持ちさせる添加物を使用していないため消費期限が短く、スーパーの店頭には並べられません。予約共同購入だからできる、他では買うことができない価値あるものが手に入るのが、このしくみの良さだと思います。

私たち一人ひとりがつくっている自分たちの生協です

高階 生活クラブ生協は、組合員一人ひとりがつくっている自分たちの生協です。そのことを知らない組合員に、伝えていってください。安心安全なものを売っているだけの生協だと思われてしまったら、お客さんが増えていくだけで、私たちがめざしている方向に進んでいきません。自分たちで出資して、利用して、運営していると考える組合員を増やしていければ、これからも生活クラブは発展していけると思います。

(取材／敦賀)

北海道に核のゴミはいらないという想いを広げましょう

北海道マウコピリカ宣言

この自然があつて幸せ

高レベル放射性廃棄物（核のゴミ）を北海道に持ち込ませないように、道民の反対意思を拡げることが目的とする「北海道マウコピリカ宣言」この自然があつて幸せ」の活動がスタートしました。この取り組みについてより理解をすすめるために、担当理事の小林さんに話を聞きました。

私たちができること

4月の地方選挙が終わり、鈴木知事が再選しました。多くの道民の反対の声があるにもかかわらず、2020年に寿都町と神恵内村で始まった核ゴミの最終処分場設置に向けた文献調査は現在、まとめの段階に入っています。鈴木知事にはこれから道条例を守り、次の概要調査へ進まないようにはつきりと反対の

意志を表明してもらわなくてはなりません。国は、十分な根拠を示さず、議論も尽くさずのまま、原発の再稼働等の方向性を大転換させようとしています。そのような中、私たちは原発を動かすのはやめ、核ゴミを増やすのもやめるために、何が大事なのか考えていくことが必要です。知事宛に署名を送ったり、集会を開いたり、パレードをしながら「核のゴミを持ち込ませないで」と市民に訴えてきました。寿都町や幌延町を訪れ、反対している住民の皆さんの想いを知り、語り合い、私たちができることを考え続けてきました。

新たな活動

原発ゼロ・市民エネルギー委員会では新しい取り組みとして、

かけがえのない北海道の素晴らしさをいつまでも残していきたいとの想いを『北海道マウコピリカ宣言』この自然があつて幸せ』に込めて、一人ひとりが宣言を広げ、さらには北海道を基盤にする企業に向けても宣言の輪を広げていこうと活動をはじめました。

マウコピリカという言葉は「良い空気、きれいな風」、また「幸せになる」という意味を持ちます。きれいな風は自然環境が保たれていることの象徴であり、すべての生き物が幸せに生きていくために必要です。

私たちはこの北海道で美しい景色と美味しい食べ物に恵まれて暮らしています。これらは、ここに残されている自然環境と農業・漁業を営む人々があつてこそ

得られるものです。そして、これから生まれてくる未来の世代にも無くてはならないものです。この自然があつてよかった、と子どもたちが思えるように、「核のゴミはいりません」という宣言を広げていきましょう。

アイヌアートプロジェクトの結城幸司さんの「子どもたちに笑顔」との想いを込めた作品をシンボルマークとしました。さあ！一人ひとりから、まわりの人々（個人・店舗など）へ声をかけて、この宣言の輪をどんどん広げましょう。〈担当理事 小林恭江〉



『北海道マウコピリカ宣言』にご賛同いただける方は、本部 瀬尾・寛知まで。

Instagram #北海道マウコピリカ宣言
検索してね



5月17日、生活クラブ本部で宣言スタートパーティーが行われました。宣言書を手にした参加者のみなさん

原発の運転によって生じる使用済み核燃料を再処理した後に残る、核分裂生成物（死の灰）を含んだ廃液を耐熱ガラスと混ぜてステンレスの容器に埋め込んだ「ガラス固化体」を高レベル放射性廃棄物と呼んでいます。ガラス固化体1本には数億人にガンを起こさせるだけの放射能が含まれており、30秒そばに立っただけで命を落とすほど毒性が強いと政府は発表しています。このガラス固化体を30～50年中間貯蔵した後、地下300mより深い岩盤の中に長期間（何万年）埋め捨てる処理方法を「深地層処分」といいます。日本は、核のゴミの最終処分方法として地層処分を選択しています。

生活クラブ北海道ホームページより <https://www.s-coop.or.jp/datsu/roatmic2.html>

温湯消毒から始まる米づくり



田植え前の準備作業として、^{えべおつ}江部乙地区では4月上旬に種子消毒を実施します。種もみにカビや細菌が付いていると病気の原因となるため、種子消毒をする必要があるのです。「とんぼの会」ではその際、化学合成農薬を使用する消毒方法ではなく、種もみをお湯^{おんとう}に浸す「温湯種子消毒法」で防除をしています。見学会に参加した消費委員長から報告をしてもらいます。(4/8 本部消費委員会)

生活クラブ米のありがたみを実感

北斗支部 ^{しらまさ}白砂 千香子

温湯消毒の現場に着くと、湯船のように大きな機械が数台、それと水を張った桶がずらーっと並んでいて、この作業が大掛かりで大変な作業だとわかります。消毒に使うお湯の温度は60℃となかなかの熱さ。種もみをお湯につけて10分経ったらすぐに引き上げ、冷水を何度か取り換えながら熱を取ります。ここで熱をしっかりと取らないと、その後の発芽率や育ちが悪くなってしまうため、生産者毎に消毒時間を変えたり、毎年試行錯誤しながら行っているとのことでした。この温湯消毒により減らせる農薬の成分回数はたったの1回分。その1回分を減らすためにこんな努力がなされているんだと生活クラブ米のありがたみを実感しました。



1つのネットに5kgの種もみが入っています

これからも食べ続けていきたい

清田支部 ^{とおよ}遠谷 翔子

今年はたくさんのとんぼの会の関係者が出迎えてくれた温湯消毒。「実際にやったらいいよ」と快く声をかけていただき生産者とともに作業を体験。ここからはじまるとんぼのゆめの1年…と思うとすごく重みのある体験で作り手の大切なものに触れる緊張感は、これからも生活クラブ米を食べ続けたいと思わせる貴重な経験となりました。この温湯消毒で減らすことのできる農薬成分回数は、たったの1回。それでも生産者が手間を惜まず、より安心安全なものを作ろうという熱い思いが伝わる1日となりました。どこで誰がどのように、どんな思いで作っているかがわかる生活クラブ米。これからも食べ続けられるよう利用を増やしていきましょう。



消費委員長も作業を体験。ネットの内部まで冷やすため手早さが重要です

※ 農薬使用基準と農薬成分回数について

1つの農薬に3成分が入っている場合「成分回数3回」となる。北海道の慣行栽培の農薬成分回数は平均22回といわれています。それに対し生活クラブ米は基本8回以内。

1988年の提携から35年間、組合員が産地に足を運び交流し食べ続け、協議を重ね課題をひとつずつ解決しながら「生活クラブ米」をつくり上げてきました。「種子消毒」もその課題のひとつ。2002年に実験を開始し試行錯誤の結果、「とんぼの会」が2006年に温湯消毒機を3台購入してスタートしました。現在では、地域の米農家もこの機械を使用して温湯消毒が広がっています。私たちの活動が産地や地域を変えているのです。米も含め消費材は現時点での到達点で、完成品ではありません。「顔の見える関係づくり」を大切にしながら食べ続け、さらに良い米を生産者とともに作り上げていきましょう。

information

発行 生活クラブ生活協同組合 札幌市厚別区大谷地東1丁目4-15 TEL011(887)8891 FAX011(887)7266
発行日 2023年6月20日 編集 広報委員会 W・C・OプランズP.O

2023年度 せっけん使おう! 7月はシャボン玉月間

生活クラブ北海道は、地域生協・漁協・NPO・市民団体などと「せっけん運動ネットワーク」を構成し、全国の仲間たちと石けん使用がすすむよう活動しています。その一つがポスターで広く市民へ石けん使用を呼びかける「7月はシャボン玉月間」。今年度のキャッチコピー「さあせっけんで！自分も地球も輝く未来へ！」を入れたポスターができあがり、各支部の運営委員が中心になって施設等に掲示をしました。より良い環境を次の世代に残すために、合成洗剤ではなく石けんを選んで使う人が増えるよう活動していきます。



石けん運動委員会

せっけん運動ネットワーク

検索

詳しくはHPをご覧ください

<https://sekkennet.org/>

本ページに記載しているイベント等については、生活クラブニュースを見て、参加申し込みをしてください。

問合せ 生活クラブ本部 TEL 011(887)8891

<https://www.hokkaido-seikatsuclub.coop/>

映画上映会 福祉・たすけあいを考える 『僕とケアニンとおばあちゃんたちと。』

日時 7月1日(土) ① 10:00～11:50
② 18:30～20:20

場所 カナモトホール〈札幌市民ホール〉第2会議室
(札幌市中央区北1西1)

内容 国内外から注目を集める介護施設「あおいけあ」に、1年間密着取材を行ったドキュメンタリー映画です。一緒に福祉について考えましょう。

ニュース

6月1週

主催 福祉担当理事会

ライフプラン
講座

我が家の保障

我が家に必要な生命保険と医療保険

日時 7月3日(月) 10:00～11:30

場所 生活クラブ本部 (札幌市厚別区大谷地東1丁目4-15)

内容 保険の考え方を知り、現在の保障が適切かどうか判断しましょう。講師はNPO法人Wco. F Pの会の藤井智子さんです。※オンライン併用開催

ニュース

6月3週

主催 福祉担当理事会

2023年度 生産者交流会

日時 8月9日(水) 9:45～11:45

場所 札幌エルプラザ3階ホール (札幌市北区北8西3)

内容 3年ぶりに実参加で開催する共生会との生産者交流会です。※釧路支部のみオンライン配信可

ニュース

7月3週



こちらからも
申し込みできます



主催 本部消費委員会



老化は感じるけれど…

白石支部 山岸 のづい

最近、体の不調を感じるが増えてきた。テレビや雑誌の健康情報が大好きで、人一倍健康には気をつけてきたつもりなのだが。キウイにヨーグルト、豆乳、エゴマオイル、1日8000歩のウォーキングにスクワット等々、努力していても、体は確実に歳を重ねている。股関節、膝、なんとなく調子が悪い。老眼も進んだような気がする。不調を言い始めたらきりが無い。

しかし、落ち込んでばかりもいられない。当たり前なのだ。55年も生きているのだから。経年劣化。少しずつ不具合は出てくる。不具合を受け止めながら、少しでも緩やかに年齢を重ねていけるよう、引き続き生活クラブの美味しい安全な消費材を取り入れながら、運動を頑張ろう。旅行、ヨガ、友人との楽しいランチ等々、やりたいことは、まだまだたくさんあるのだから。

組合員のエッセイを募集します。400字程度。テーマの指定はありません。本部川瀬まで、ファックスか業務便で送って下さい。



道産 道産簡伐材を配合した紙を使用しています